



ケンサキイカ（地方名：マイカ、シロイカ）の各地の漁況と底層水温情報を6県（長崎県、佐賀県、福岡県、山口県、島根県、鳥取県）で共同発行しましたので、お知らせします。

I. 6月のイカ釣り漁況

① 各県の主要漁港における6月の水揚量について（平年は直近の過去5年平均）。

鳥取県	主要漁港の水揚量は、前年、平年を下回りました（前年比75%、平年比76%）。
島根県	主要漁港の水揚量は、前年並みで、平年を下回りました（前年比96%、平年比52%）。
山口県	代表2地区の水揚量は、前年、平年を下回りました（前年比78%、平年比61%）。
福岡県	代表港の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました（前年比129%、平年比69%）。
佐賀県	標本漁港の水揚量は、前年、平年を上回りました（前年比145%、平年比120%）。
長崎県	標本漁協の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました（前年比287%、平年比76%）。

※前年・平年比の評価は、90%以下では「下回る」、91%から109%では「並み」、110%以上では「上回る」としています。

② 各県の「1日1隻当たりの漁獲量（CPUE）の月別動向」と「6月の漁獲サイズ」について

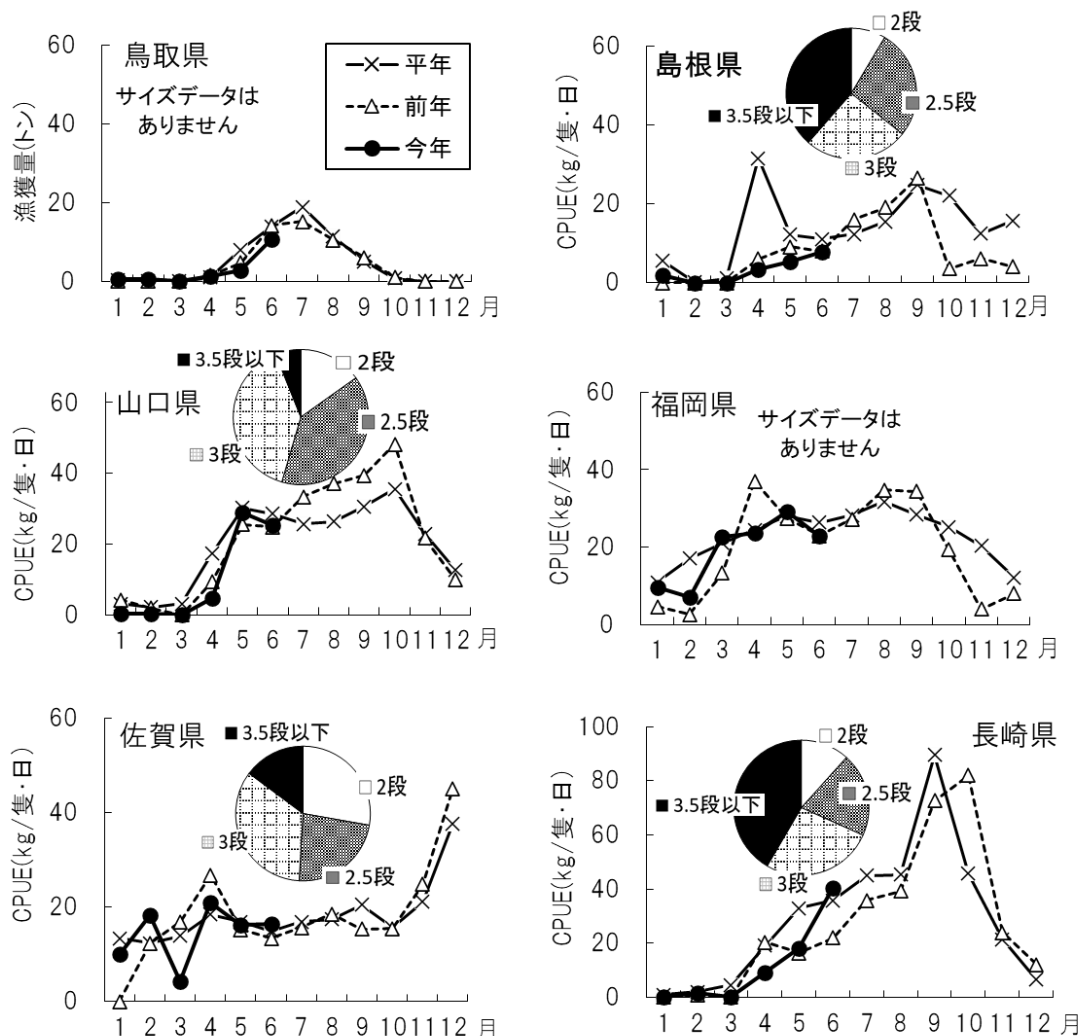


図1 各県のCPUE（折れ線グラフ）および漁獲サイズの割合（円グラフ）
※鳥取県のみ漁獲量で表示

Ⅱ．7月上旬の底層水温

鳥取県	陸棚域（水深 50～188m）の底層水温は 3.1～19.4℃でした。
島根県	7月の水温データはありません。
山口県	陸棚上（水深 68～139m）の底層水温は 8.3～20.4℃でした。
福岡県	沖合の底層水温は 16.0～18.0℃で、平年並み～やや高めでした。
佐賀県	壱岐水道の底層水温は 21.2～22.3℃、対馬東水道は 14.6～21.4℃で、平年値と比べ-0.5～+1.1℃でした。
長崎県	五島西沖の底水温は 14～18℃台でした。

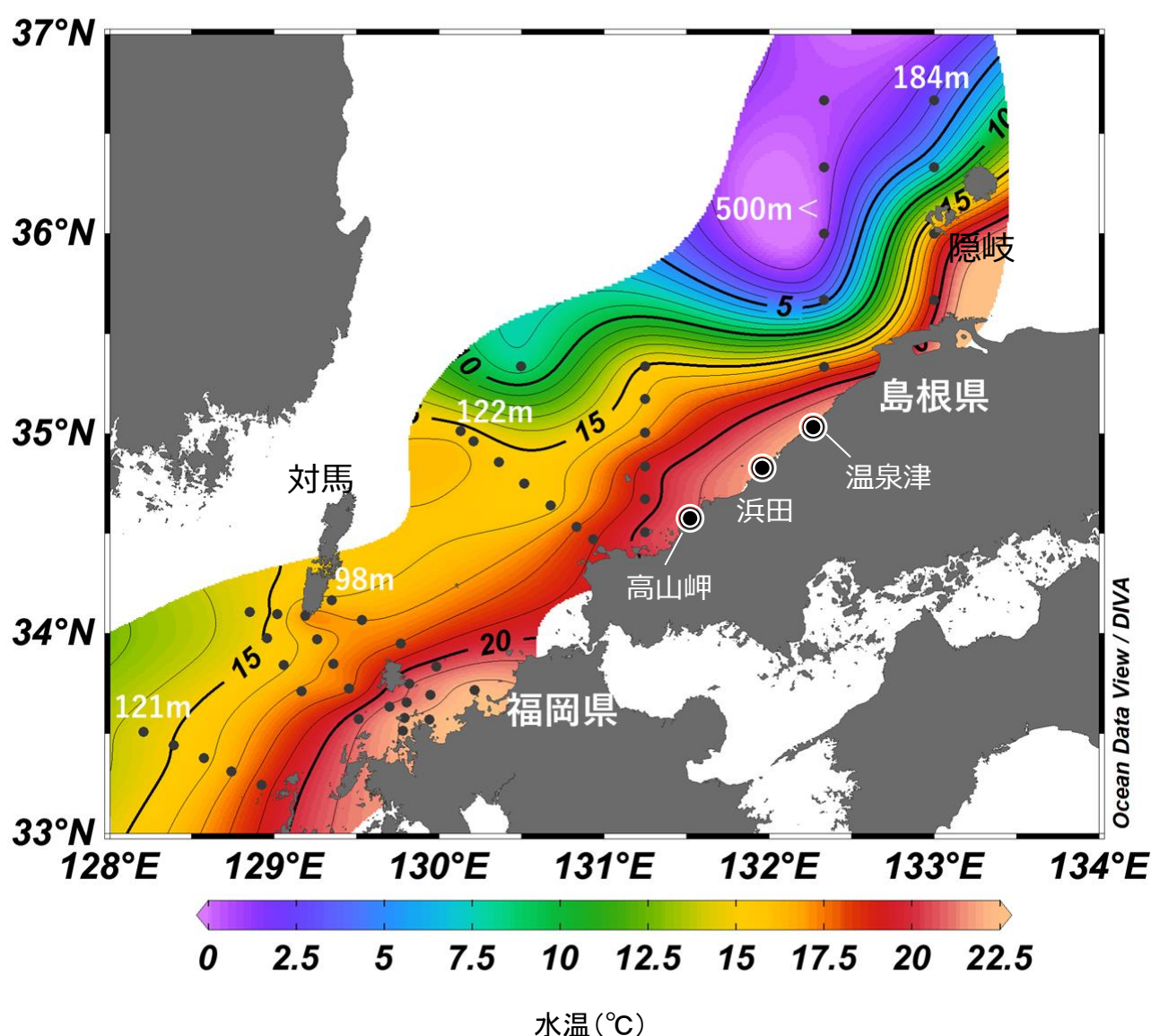


図2 長崎県～鳥取県の沿岸域・沖合域における底層の水温分布図

図中の丸（●）は観測点を、メートル（m）の単位がついている数字は水深を、単位がついていない数字は水温（℃）を示しています。

※モノクロ印刷の場合、水温帯の色の識別が困難ですので、ホームページでカラー版をご覧ください。